

**製品名: CsGalNAcT-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09449**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	63kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CSGALNACT2
別名	CSGALNACT2; CHGN2; GALNACT2; Chondroitin sulfite N-acetylgalactosaminyltransferase 2; Chondroitin beta-1; 4-N-acetylgalactosaminyltransferase 2; Beta4GalNAcT-2; GalNAcT-2
遺伝子 ID	55454.0
SwissProt ID	Q8N6G5
免疫原	抗血清はヒト CSGALNACT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

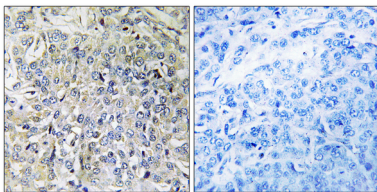
この遺伝子はコンドロイチン N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼファミリーのメンバーをコードします。コードされて

いるタンパク質はコンドロイチン硫酸合成における伸長に関与します。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。関連する2つの擬似遺伝子が染色体X上で特定されています。[RefSeq提供、2016年2月]、触媒活性: UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン + ベータ-D-グルクロニル-(1->3)-D-ガラクトシル-プロテオグリカン = UDP + N-アセチル-D-ガラクトサミニル-(1->4)-ベータ-D-グルクロニル-(1->3)-ベータ-D-ガラクトシルプロテオグリカン。、機能: 1,4-N-アセチルガラクトサミン (GalNAc) を UDP-GalNAc からグルクロン酸 (GlcUA) の非還元末端に転移します。コア四糖リンカーへの最初の GalNAc の付加とコンドロイチン鎖の伸長に必要。、オンライン情報:コンドロイチン  $\beta$ -1,4-N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼ 2,オンライン情報:GlycoGene データベース,類似性:コンドロイチン N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼ ファミリーに属する。、組織特異性:普遍的。、

## 研究分野

コンドロイチン硫酸の生合成;

## 画像データ



CSGALNACT2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。